

平成22年度参画協働の取組 検証シート

(委員名)

事業名	学校・地域連携事業	章	5
細事業名	学校・地域連携推進経費	節	1
上位事業の目的	地域と学校とが連携して特色ある学校づくりや開かれた学校づくりを推進しながら、地域ぐるみで子どもたちを育てる。		

参画の通則より	検証の着眼点	自己評価 該当番号	特記
参画の対象 (情報共有)	・十分な情報提供を行い、多様な市民の意見や情報の収集を図っているか		
参画の手法	・効果が期待できる手法を用いているか ・専門性のある事業には、深い知識を有する市民の参画を図っているか ・地域性のある事業には、当該地域の市民の参画を図っているか ・営利目的による関与の排除を図っているか		
参画の実施時期	・立案から実施及び評価までの過程において、適切な時期に参画の機会を設けているか		
参画実施の公表方法 (情報共有)	・参画を実施する際、複数の方法を用いて情報提供しているか ・参画の実施状況を公表し、情報提供しているか		
実施予定及び実施状況の公表(情報共有)			
参画結果の取扱い (情報共有)	・市民から提供された情報を活用し、有益な意見やアイデアを積極的に事業に反映しているか		
参画の取組への 意見・提案		参画の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない

協働の原則より	検証の着眼点	自己評価 の番号	特記
対等の原則	・お互いの立場や特性の違いを認識し、対等な立場で協力、連携しているか		
目標共有の原則	・お互いに協働によって達成しようとする目的を共有しているか		
自主自律性尊重の原則 自立性確保の原則 求同尊異・補完性の原則	・自主性、自立性を尊重しているか ・市民が必要とする範囲や内容に応じて協働しているか		
公開の原則	・協働のプロセスや結果を公開し、説明責任を果たしているか		
話し合い・相互理解の原則	・日頃から話し合いによって相互理解を図っているか		
時限性の原則	・協働を継続するかどうかを検証しているか		
協働の取組への 意見・提案		協働の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない

平成22年度参画協働の取組 検証シート

(委員名)

事業名	まちづくり支援事業	章	2
		節	1
細事業名	まちづくりサポーター養成・活用経費		
上位事業の目的	自主自立の地域づくりを進める		

参画の通則より	検証の着眼点	自己評価 該当番号	特記
参画の対象 (情報共有)	・十分な情報提供を行い、多様な市民の意見や情報の収集を図っているか		
参画の手法	・効果が期待できる手法を用いているか ・専門性のある事業には、深い知識を有する市民の参画を図っているか ・地域性のある事業には、当該地域の市民の参画を図っているか ・営利目的による関与の排除を図っているか		
参画の実施時期	・立案から実施及び評価までの過程において、適切な時期に参画の機会を設けているか		
参画実施の公表方法 (情報共有)	・参画を実施する際、複数の方法を用いて情報提供しているか ・参画の実施状況を公表し、情報提供しているか		
実施予定及び実施状況の公表(情報共有)			
参画結果の取扱い (情報共有)	・市民から提供された情報を活用し、有益な意見やアイデアを積極的に事業に反映しているか		
参画の取組への 意見・提案		参画の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない

協働の原則より	検証の着眼点	自己評価 の番号	特記
対等の原則	・お互いの立場や特性の違いを認識し、対等な立場で協力、連携しているか		
目標共有の原則	・お互いに協働によって達成しようとする目的を共有しているか		
自主自律性尊重の原則 自立性確保の原則 求同尊異・補完性の原則	・自主性、自立性を尊重しているか ・市民が必要とする範囲や内容に応じて協働しているか		
公開の原則	・協働のプロセスや結果を公開し、説明責任を果たしているか		
話し合い・相互理解の原則	・日頃から話し合いによって相互理解を図っているか		
時限性の原則	・協働を継続するかどうかを検証しているか		
協働の取組への 意見・提案		協働の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない

平成22年度参画協働の取組 検証シート

(委員名)

事業名	総合的な治水対策の推進	章	8
		節	5
細事業名	都市基盤河川維持補修経費		
上位事業の目的	河川の整備促進を図り、洪水による被害を防止・軽減する。		

参画の通則より	検証の着眼点	自己評価 該当番号	特記
参画の対象 (情報共有)	・十分な情報提供を行い、多様な市民の意見や情報の収集を図っているか		
参画の手法	・効果が期待できる手法を用いているか ・専門性のある事業には、深い知識を有する市民の参画を図っているか ・地域性のある事業には、当該地域の市民の参画を図っているか ・営利目的による関与の排除を図っているか		
参画の実施時期	・立案から実施及び評価までの過程において、適切な時期に参画の機会を設けているか		
参画実施の公表方法 (情報共有)	・参画を実施する際、複数の方法を用いて情報提供しているか ・参画の実施状況を公表し、情報提供しているか		
実施予定及び実施状況の公表(情報共有)			
参画結果の取扱い (情報共有)	・市民から提供された情報を活用し、有益な意見やアイデアを積極的に事業に反映しているか		
参画の取組への 意見・提案		参画の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない

協働の原則より	検証の着眼点	自己評価 の番号	特記
対等の原則	・お互いの立場や特性の違いを認識し、対等な立場で協力、連携しているか		
目標共有の原則	・お互いに協働によって達成しようとする目的を共有しているか		
自主自律性尊重の原則 自立性確保の原則 求同尊異・補完性の原則	・自主性、自立性を尊重しているか ・市民が必要とする範囲や内容に応じて協働しているか		
公開の原則	・協働のプロセスや結果を公開し、説明責任を果たしているか		
話し合い・相互理解の原則	・日頃から話し合いによって相互理解を図っているか		
時限性の原則	・協働を継続するかどうかを検証しているか		
協働の取組への 意見・提案		協働の 検証結果	A よくできている B まあまあできている C あまりできていない D 全くできていない